

『初恋』寸評

- ・学んできたことをうまく散りばめた小品
- ・ゆったりとしたテンポで多くを語らせる
- ・クリシェ、転回形、主音ドローン、ゼクエンツ、半終止、和声配置の工夫等がみられ、感慨ぶかい
- ・タイトルと作品内容もさまざまな印象想起を許容する

完成度をさらに上げるために

- ・全体的に八分音符の羅列がつづきやや散漫
夢の中のようなものであるがリズム変化も意識して
- ・m.4-5 b.1-2 クリシェで和音がにごるからじっさいは
1拍単位でペダルをふみかえる
- ・ペダルは奏者にまかせてしまってもよい
- ・m.13-15 ゼクエンツがややしつこい やめどきを工夫しよう
- ・m.9-12 対位法的にもう少しリズム変化を右手にもたせる

The image shows a musical score for piano, measures 4-5. The right hand has a trill on a single note, and the left hand has a bass line. The tempo marking 'poco rit.' is written above the right hand staff.

- ・m.6 b.3-4 ベースが4度上行して基本形に入らないと納得できない

The image shows a musical score for piano, measures 6. The right hand has a melody, and the left hand has a bass line. The bass line in measure 6 shows a 4th degree ascent.

m.=measure 小節番号のことです。
b.=beat 拍のことです。

みごとな1年のしめくりですね。

持庵 勉